成人映画

昭和42年5月1日発行

発行／現代工房

No, 17 目次

美矢かほる

逢見典子

山吹ゆかり

清水世津

観世亜紀

加山恵子

一星ケミ

工藤那美

真湖道代

谷オナミ

〈表紙の人・内田高子〉
トップスターの貫録
このところ一段と女らしさが増して、こぼれるセクシーさがただよう。お高ちゃんバッチリみせて！という声もおとろえず……。

新作紹介

★★★★★★★★★

- 女のよろこび
- 夜泣く女
- 女 子 寮
- 続悪徳医
- 処女ざくら
- 情夫と情婦
- スペシャル
- 無軌道女性

特集＊初夏を魅了するグラマースターパレード

清水世津

彼女ぐらいカメラのアングルによって変化する女優も珍らしい。誠実な人柄もこの世界では貴重だ。孤独を愛する可愛いい女性でもある。

工藤那美

「ウワァ、ええオッパイしてるウー」と若いファンがうなり申したが、カオのワリにはエエ線いってるねえ。その豊かさを演技の豊かさにもむけるべし。

谷ナオミ

九州は博多から上京して豊原路子の門をたたき、トレーニングを受けて映画界へ。なんのトレーニングを受けたか存ぜぬが、逞ましさは人一倍。九州女の根性ぶりは定評があるから、一年後の谷の成長に期待したいね。

美矢かほる

大器晩成型スター。下町育ちのきさくさと、ウイット性、グラマーぶりも演技派への成長も楽しめる。

最近作が「ある密通」と「夜の悦び」である。清純派でピンク映画の吉永小百合だ！と大学生のファンが多い。北海道出身で、十八歳。

真湖道代

山吹ゆかり

カモ鹿のような肢体でフレッシュな魅力。SKD出身だけにのびきったアンヨのカッコよさ。豊かな黒々とした脇毛も野性的でセクシーだ。全裸をみせないので、一度は出し惜しみしないで…という声もある。

一星ケミ

鹿児島出身。六本木族の野獣会のメンバーだった。秋山庄太郎氏にスカウトされモデルもやったことがある。現代っ子の典型的なグラマー。なんや日本のフロオケがせせこましいねえ。

人びた顔立ちだが、日本的なムードとセクシーさでめきめき頭角を現わしてきた。

達見典子

脱ぎっぷりのあざやかさ申し分なし。十九歳にしては大

観世亜紀

「芸者」「情夫と情婦」など四本程度の作品だが、着実な伸び方をしている新人。美矢と同列に属する大器型だろう。ファッションモデル出身には珍らしいグラマーだ。

加山恵子

関西ピンク映画界のトップスター。加山プロダクションまで作ってプロデュースと主演をやってのける。表情にもオッパイにも、ヒップにもソフトムードがただよう。

自信こそ男の生きがい!?

＝「性の起源」の異様なラブ・シーン＝

頭の中心部がかなり薄くなっている彼と彼女はだれでしょうか。女優は乙羽信子とまではわかるんだけど、淋しくなったアタマを優しく撫で回してもらっている主は？「オレは三文役者だ」といいながらサングラスをかけてある雑誌の特派記者となり、世界をかっ歩し本職よりウメエ文章をモノしている男…そうです。泰ちゃん！殿山泰司その人です。

目下近代映協、新藤兼人監督の「性の起源」（松竹配給）に出演かくなるベット・シーンと相成った次第です。

「本能」の姉妹編でこんどは目覚める性と失われる性の愛の根源はどこにあるやろか―と見つめる作品なんだそうです。泰ちゃんはもちろん〝失われる男の性〟の方でノイローゼ抑うち症でやっと退院したもののアノ方がダメな五十男妻の乙羽から「おとうちゃん、自信をもたなあきまへん」といわれ、「うん、そうだ自信だな」と乳児のごとく妻の胸に顔を埋めてゆく。なんとも悲壮な人間ドラマです。身におぼえのある方々にはとても笑っちゃいられない動揺を与えてくれるでしょう。

星由里子再び裸でハッスル！

「千曲川絶唱」のヌードにつづいて星由里子が再びシャワーシーンでヌードになったのが「颱風とざくろ」（東宝・監督須川栄三）

彼女はテニスのあとシャワーを浴びるのだが、もちろん上半身ヌード。さきの「千曲川」で大胆なところを経験ずみなので二度目は案外の度胸。それでも多少緊張したのかタイルで足をすべらせて転倒、頭を打ち、おまけに水がうまく出ず撮影が長時間にわたってカゼをひいてしまった。これがピンク映画の女優ならオール全裸、堂々とこちらを向いてオッパイまで丸出しにするのがアタリマエ。だが、清く正しく美しくムードの東宝さんではムリなお話。それにしても星はガンバリましたね。

松竹のSEX攻勢

「堕落する女」の桑野みゆき

松竹ではさきの「日本春歌考」の成人映画がヒットしたことから五・六月には成人映画作品がどっと公開される。五月二、三週（13～26）は現代映画社製作の「情炎」（監督吉田喜重、岡田茉莉子、木村功主演）「さそり」（監督水川淳三、加賀まりこ主演）六月以降は近代映協製作、「性の起源」（監督新藤兼人、乙羽信子、主演）、「堕落する女」（監督吉村公三郎桑野みゆき主演）といった具合でセックスがテーマのものばかり。ピンク映画もこの松竹の攻勢にのほほんとしてはいられますんゾ。

‖ニューヨークで上映されたピンク映画‖

いまニューヨークの盛り場タイム・スクエアにあるチボリ劇場で日本シネマの「変態」（HENTAI）が上映されている。ピンク映画の米国上映第一号である。タイトルはすべてローマ字に変えられており、セリフは英語の吹き替え。変態性欲の場面の反応はそれほどでもないが、キモノの女（桝田邦子）がジュバンを開かれて乳房が露出し、パンティに手がかかる一瞬には場内の男たちの目が光り、ハダカの女の足にタビだけがのこっているシーンには観客も息をつめて画面に見入っているという。「イヤー、イヤー」と叫けぶ女の声をマネながら劇場を出る男もいるほど。「変態」はロサンゼルスの"オリンピック・インターナショナル"という業者が日本から輸入して編集し、セリフの吹き替えをしたものだが、このほかにも輸入予定のものがあり、チボリ劇場では近く日本の「芸術エロ」ものが上映されるという。S・サスーン支配人は「低予算でこれだけ作れる技術を日本の製作者が持っている点を高く評価すべきです。日本のエロダクションの製作者たちが、金をもうけたいという意欲を持っている限り、どのように映画の内容を改良して行けば外国で高く売れるようになるかということはおのずからわかってくるはずですよ」といい、「エロ映画を見に来る客は作品内容のことで絶対に文句をつけて来ない」これはこの種の映画興行のウマミであることを見抜いている。これはそのまま日本の場合にもあてはまるわけだ。

（週刊新潮4/22号より）

若尾文子はハダカで勝負しない！

■マリリン・モンローをモデルにしたといわれる若尾文子主演、今井正監督の「砂糖菓子が壊れるとき」（原作曾野綾子）が目下撮影中だが、これはめぐまれた肉体を武器に男性遍歴をしながらスターダムにのしあがる女優の姿を描くもの。売れない時代の若尾がヌード・モデルになるシーンがある。もちろんヌードは若尾がよくやる吹きかえのモデル。"肉体が武器"という映画なのにこんども巨匠今井監督であってもスタンドインヌードじゃねえーという声がある。

■湯浅浪男監督の台湾ロケに参加していた津崎公平がこのほど半年ぶりで帰国した。台湾の住み心地のよさ、台湾美人のセクシーさにゾッコン参り、今月末、再び仕事と酒と女を求めて台湾に渡るそうだ。

■元テアトル・プロダクション代表取締役関屋親藤氏を中心として、このほどセキヤ事務所が結成された。映画、舞台、テレビ、ラジオ、モデルなど芸能界で活動してゆくそうだ。メンバーは左京未知子、諏訪真智子（桝田邦子改め）上条京子（檜みどり改め）白銀ゆり、谷ナオミ、柳川優子、人見京子、高岡秀美、愛茶々子、小野由加利、九重京司、天野良一、桝田弘二で事務所は目黒区碑文谷五丁目一七ー一〇TEL（七一二）三九八八

■東京興映では二十五日封切作品として若松プロの「網の中の暴行」を配給することにきめた。

■ワールド映画ではテクニックシリーズ「泣きどころ」（監督小川欽也）を火石プロと提携でクランク・イン、五月九日封切を予定している。

■OPチェーンの親睦旅行会は五月十八日白浜温泉京成ホテルで開く。当日は成人映画のスターたちも出席する。

■ピンク映画のオールカラー作品は国映の「新・情事の履歴書」六邦映画の「あばずれの悦楽」アジア映画の「欲望の深い谷間」の三本が封切られる。

■東京興映では5月GW作品「美女拷問」（監督小森白）で独立プロではじめてという九州別府ロケを行なった。

フレッシュな肢体を輝かせる新人★瞳亜矢子

《新・情事の履歴書★御宿ロケから——》

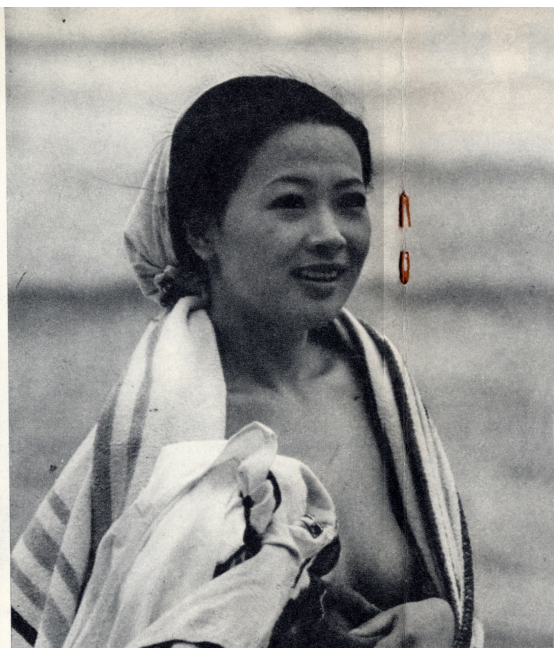
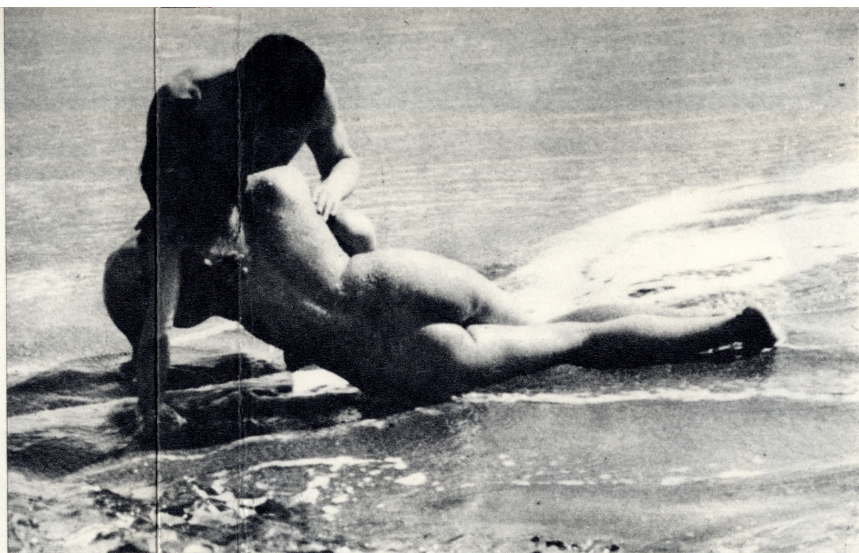
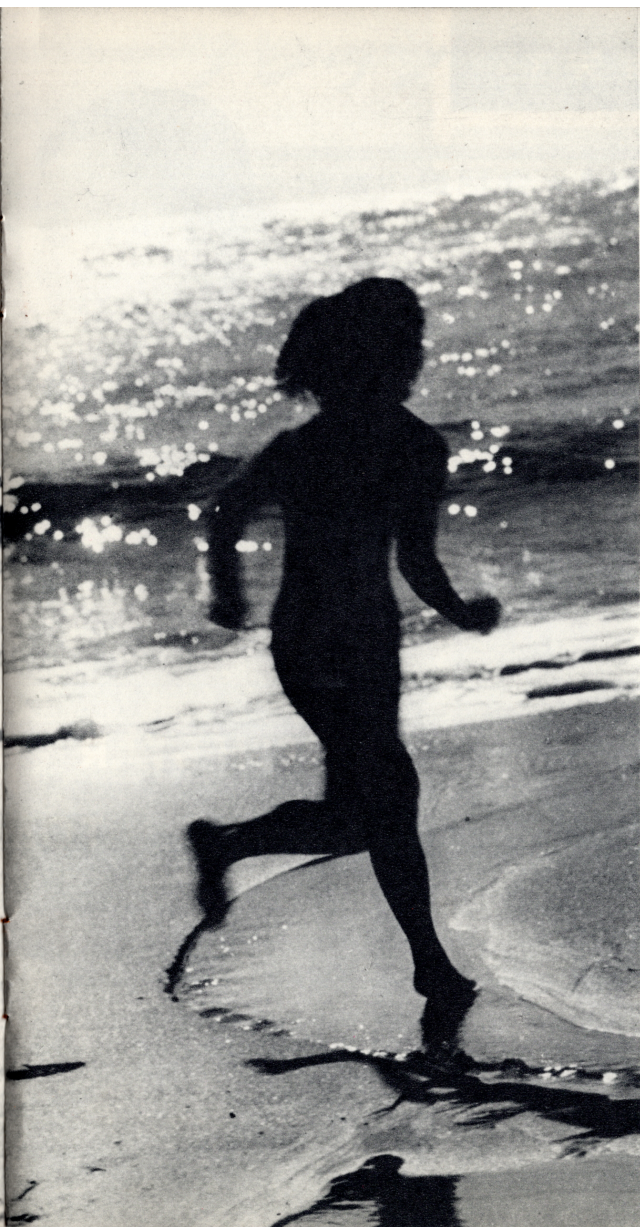
「情事の履歴書」といえば独立プロで最高にヒットした作品だが、その第三作目の「新・情事の履歴書」（青年群像製作・国映配給）で撮影された。監督が新進の山下治。主役に起用されたのがテレビタレントの瞳亜矢子、二十一才。

東京深川の生れで身長一五二、バスト、ヒップが85㌢。浅丘ルリ子とかっての野添ひとみをミックスしたような魅力とセクシーさがある。千葉の御宿ロケでは全裸で走りまくり、そのハッスルぶり、脱ぎつぷりはお見事であった。ゴールデン・ウイークにこのオールカラー作品がどう稼ぐか注目されるところ。

上京してヌードモデルになるシーン　バスト85の魅力です

本業はバーのホステス実物をみたい方は彼女の店で—ただしヌードにはなりません

全裸にされて浜辺を必死に逃げる

フレッシュな肢体を輝かせる新人★瞳亜矢子

若松孝二監督の意欲作――

〈ロケ・スナップ〉＊綱の中の暴行

PHOTO REPORT

若松孝二もこのところグッと商業ベースに乗っかる作品を—と割り切っているようだ。この「網の中の暴行」(若松プロ）は自分の恋人を外人に犯された彼氏（野上正義）が、その外人の妻を同じ情事に誘いこんで暴行の復讐をするという物語。例によって若松好みのショッキング場面の連続。女性はイギリス人で23才。素人にしてはうまい芝居だったそうだ。

する小川欽也監督

新作より 二つの異色作

▲ダンナに犯される松井康子

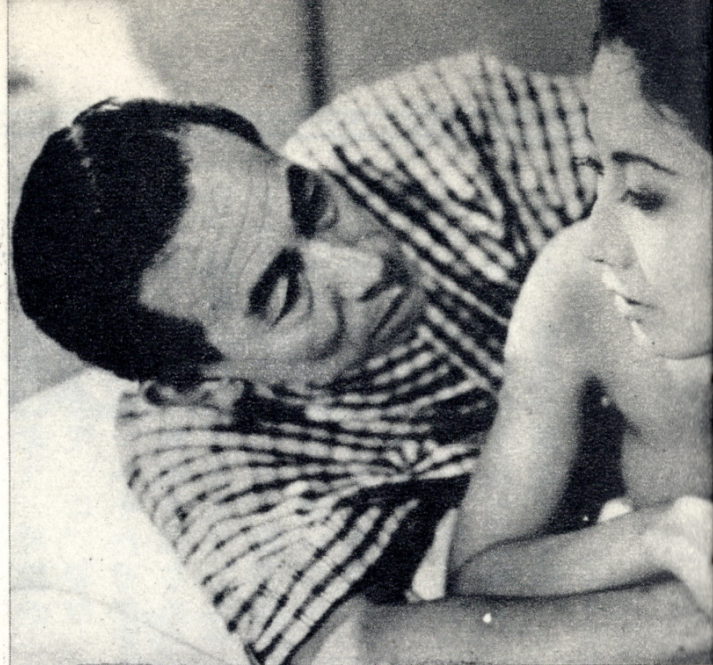
あばずれの悦楽〈六邦映画〉

関西やくざの流れ者、三人の女（松井康子、橘桂子、藤ひろ子）が関東のある銀行を襲うというスリルとサスペンスとお色気をおりまぜた作品。結局は無線タクシーの営業用のマッチから足がつき、ラストで松井康子だけが生きて全員が崖から落ちて死んでしまうという悪は滅びる―というお話。小林悟監督がテンポの早さと三人三様のセックスエピソードを盛り込んで、オールカラーで描いている。ほかに清水世津・美矢かほる・鶴岡八郎らが共演。

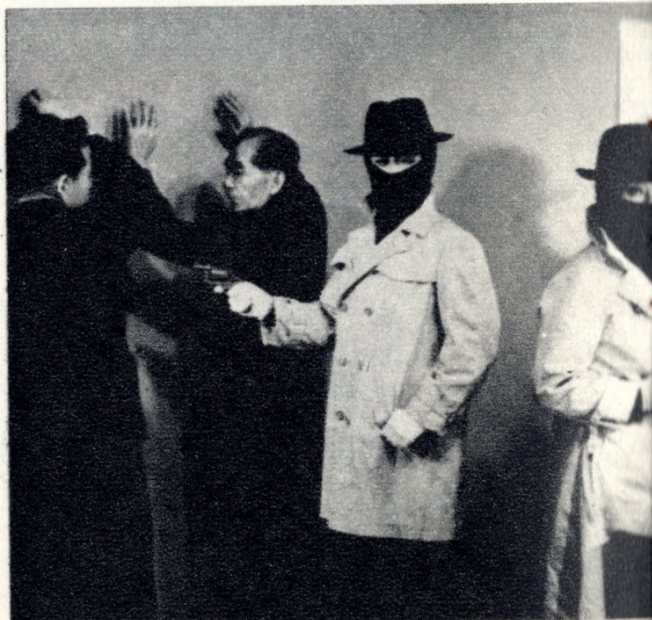
現代女性医学──

〈大蔵映画配給〉

大蔵映画の「妊娠と性病」が大ヒットしたことから、こんどは二匹目のドジョウを狙っての医学シリーズが「現代女性医学」（監督小川欽也）。前作はかなり学術的な作品だったが、こんどは二人の女性がいかにセックスを通して幸福と不幸の道を歩いたかを描いている。

OLの幸子（辰己のり子）は同僚の宮口（野上正義）に強引に犯されたうえ、部長とも関係して妊娠し、行きつくところはバーのホステス。澄子（谷ナオミ）は初夜に夫（名和三平）の強引なセックスに嫌悪を感じ、以来夫婦生活がうまく行かずに悩む。二人の女性を通して性の明暗を浮きぼりにしている。二人の新人女優のセクシーさが新鮮だ。

九重京司（お客）と寝る辰己のり子

演出

▶男装した三人の女ギャング
◀港雄一に犯される美矢かほる

●スターの交替期を迎えたピンク映画

フレッシュ女優の未知の魅力

ことしはピンク映画界が大きく変貌する。その一つの理由はピンク女優が総入れかえとなり、かつての出演女優にかわってフレッシュな若くてピチピチした新人女優たちがどんどんくりこんでいるからだ。本誌がさきごろから「67年はスターの交替期だ」と断定した通り、ことしは、ピンク女優の若返りの年——といえるわけだ。

現実に新高恵子が引退を声明して歌謡界に走り、可能かず子が劇団「世代」に、谷口朱里が「人間座」へそれぞれはいり、新劇で勉強をはじめた。飛鳥公子も東芝入りしてレコードを吹き込み、歌手の仲間入り、扇町京子はいつの間にかスクリーンから蒸発してしまった。山仲溪子はファッションモデルに、火鳥こずえも同様、期待された志摩みはるも「胎児が密猟する時」をラストに家業の中華料理店の手伝いをしており、葵真由美は喫茶店のママに、香月マヤは小林悟監督夫人に、北御門杏子もいまや完全に芸能界から足を洗い、横浜でクラブのレジ係をやっている。奈加公子も家庭の事情でグットバイ、城山路子も本職のバー経営が忙しくてご無沙汰つづきとざっとこんな具合である。

新人台頭こそピンク映画の開化

こうした先輩女優のあとをうけて台頭してきたのが、達見典子、真湖道代、谷ナオミ観世亜紀、一星ケミ、清水世津、美矢かほる、山吹ゆかり成瀬恵子、瞳亜矢子、祝真理志村曜子、林美樹、檜みどり大月礼子といった新人群。

新人の起用によって新しいドラマが作られ、新しいセクシーさがスクリーンに輝く。

渡辺護監督は「これからは新人を育てなきゃあいけませんよ。もっと有能な人をスカウトしたい」といい、若松孝二監督も「いままでの女優はもう過去のもの、これからは新人で独立プロを改革しなければ」といっているし、新藤孝衛監督も目下新人を養成しているさなか。

現代っ子の持つ陽気なお色気

前記にあげた新人たちはまだまだ演技的には未知数だがなんといっても新鮮さが魅力だ。監督にきたえられ、場数を踏み、努力することで、可能性がでてくる。これらの女優たちに会ってみて感ずることはいずれも現代っ子らしいオープンさと明るさがあることだ。そして肢体が伸びのびとしてハダカを恐れず自分の美しさをストレートに表現しようとしていることだ。これからの彼女たちに注目と期待をよせたいし、ファンも監督もプロデューサーも、脇役の俳優もバックアップして育ててやってほしい。やっとピンク女優の新しい脱皮と交替期が訪れ、この世界の希望が開けたともいえる。

（川島）

引退声明と同時に歌手へ転向した新高恵子

（PR）

春歌艶歌の決定版！

「正月とや承知で親たち……」春歌のかえ歌は、いまや現代人にはかかせない。宴会に、コンパに、そして旅行に。きれいなカラーのヌードを楽しみながら50曲も覚えられる。このほかぐっと悩ましい「私の身体は一つの楽器」「シンフォニー・オブ・セックス」があり、春歌艶歌傑作集はいまひっぱりだこ。東京・神田のある書店主は「こればかりは年に関係がないようです」とその人気のほどを話していた。いっぽう発行者も笑いがとまらず秘かに次の企画を立案中という。全国の書店・レコード店にある。

八〇〇円（〒一二〇円）

ロマン書房刊 ＊ 春歌艶歌傑作集

ロマン書房　東京・中野・本町通り3-24　TEL (361)4191〜3
大阪・東成・深江西5-28　TEL (981)6964

独立プロ初のオムニバス異色作

或る密通

■第一話・美と醜■の内田高子

若松孝二、向井寛、山本晋也の三人の監督によるオムニバス映画「或る密通」（日本シネマ）は独立プロとしては初めての試みであり、新鋭どころ三監督が競作するのも興味と期待が大きい。第一話の「美と醜」は向井寛脚本・監督で一人の老人（藤井貢）と囲われた女（内田高子）の特異な性行為、そして老人がさらにゲイボーイをも囲っていた美と醜の波紋を、老人の生前のエピソードをもとに描く物語。第2話の「色夢」は山本晋也脚本監督で、月の化身、兎の化身である美女（真湖道代）の誘いにのり男（港雄一）が、女を抱くが、〝私の体の中で絶対に見ちゃいけないところがあるの。もしそれをみたら、私た

「夜泣く女」の桝田邦子

ピンク映画見たまま

佐藤重臣〈映画評論家〉

＊　＊　＊

このところチョット油断をしていたら、オピンク映画はガラリと変わりましたなあ。

だいいち、可愛いスターさんたちがすっかり替わっちまった。新高恵子、可能かづ子、谷口朱里、志摩みはるといった第一線のパリパリが、ほとんどもうピンク映画に出ないとのこと。これはホントに悲しいオハナシです。なんでも噂によると、最近のピンク映画界はダンピングがひどくて、そのシワ寄せがスターさんのギャラ・ダンピングにまで、ひびいているそうで、こうオゼゼが安いならなにも、ガッポリ、オベベをぬがなくてもその辺の安キャバで稼げますワ、というのが、これらスターさんのご引退の理由らしい。

さて、今月、見たピンク映画の私のノートをひろげますと、最初が新藤孝衛監督の「夜泣く女」。桝田邦子さんが有閑マダムで閑にまかせて、街で男性をハントする。

ちはおしまいよ〟という美女の言葉を裏切り、行為のあとでそれをみたため、男が鮮血にまみれるというおとぎ噺の不思議なミステリーゾーン。第三話は「口紅」で大和屋竺脚本、若松孝二監督。

新婚の夫婦（岡田淑子、二階堂浩）が漁師町に小旅行した。夫が喫茶バーで女と寝た。妻は漁師（野上正義）に鮮やかな歯形を乳房に残された…。一話が三十分で、それぞれの〝秘めたる性の交響詩〟をいかに映像化したか、興味深い近作。

■第三話・口紅■人妻のよろめきを演じる岡田淑子

ところが並大低の愛情表現では、桝田邦子サン間に合わないと見えて、自分の手に猿グツワをはめたりあげくの果にアタシを噛んでなどとおっしゃる。桝田邦子さんのプロレス並みの大演技が見もの。

続くは渡辺護監督が初めてプロダクションを作っての「情夫と情婦」――。これで「いろといろ」と読むのですが、中味はそんなにフシダラ映画ではない。完全犯罪を目論んで保険金を受取人の若きアネゴ観世亜紀が、欲と色がつっぱって、最後には同志討ちしてしまうというオハナシ。できも仲々にていねいにとっていてサスペンスが盛り上がっている。

お馴染み若松孝二監督の新作は「網の中の暴行」という映画。主人公がイギリスはロンドンからやって来たグラマーであるところが若松監督らしく抜け目ない。このグラマーさん(ラングストローム)とおっしゃる方で、私もたまたま、若松監督に紹介されたが、もう日本に三年いるせいか、日本的なことは、みなよくおわかりになる。私が「クロクロね、シロシロおわかり、ユーアンダスタンド?」などとからかうと、「ハアーイ、よく存じています。男と男の人の仲よしのことでしょ」というお返事。この「網の中の暴行」でも日本の若い衆が復讐のために、彼女を手ごめにしようとするのですが、どうしてどうしてあちらさんのほうがボリュームが凄くて、摑んだ拍子に逆にボイーンとハジキ飛ばされるといった具合。そんな場面が凄くコッケイで面白うございました。

「網の中の暴行」の迫力あるラブシーン

「情夫と情婦」の観世亜紀

今月のスクリーン エロチシズム

情夫と情婦

東京興映配給

安西マキ（観世亜紀）は夫（泉田洋志）に一千万円の保険に入ることをすすめる。生命保険の事故係の高梨（山本昌平）と共謀した夫を殺し保険金を山わけしようとするが、同僚の村上（生方功）の目はごまかすことが出来ずにあせる。高梨はマキを殺すが彼もマキに猟銃でうたれてしまう。製作＝渡辺プロダクション・監督＝渡辺護

女子寮

＝関東ムービー配給

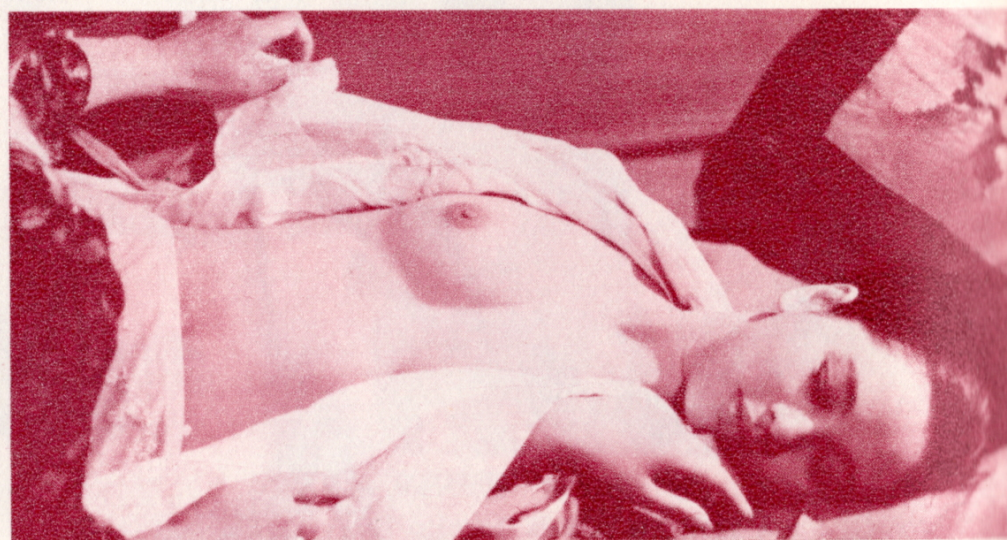
藤岡病院の看護婦寮はいつも抑圧された欲望がただよっている。男好きの正子（桧みどり）やオールドミスの女医（左京未知子）も、医師と関係し、君代（一星ケミ）も院長と通じていた。見習いのあゆみ（白川和子）は新鮮な少女だが婦長（志村曜子）と変態的な同性愛にふけっていた。看護婦たちの愛と葛藤を描いている。製作＝日本芸術協会　監督＝向井寛

続悪徳医〈女医編〉

＝日本シネマ配給

三上医院の女医冴子（左京未知子）は学生のころ五人の若者に輪姦され、いまわしい病

「処女ざくら」の左京未知子

「女のよろこび」の加山恵子↑

「夜泣く女」でハダカにされる江島みどり

気をうつされそれ以後、男への憎しみと復讐に生きがいを感じる女になっていた。夜の街で知り合った男（港雄一）に妊娠させられ自分で手術台に乗り自分の身体の掻は手術をするのだった。医師に神原明彦、看護婦に谷ナオミが共演している。監督＝福田晴一

処女ざくら ＝ワールド映画配給

達也（長岡丈二）は年上の女由起子（左京未知子）に毎夜いどまれ飼育されていた。彼は美校女学生の初江（飛鳥公子）を誘拐し山小屋にとじこめ、青春をとりもどすかのように若い初江を飼育してゆくのだった。監督＝奥脇敏夫

夜泣く女 ＝関東ムービー配給

憲子（枡田邦子）は学生のころ三人の若者に犯された暗い過去があった。そのとき苦痛のなかに快楽を味わう自分を知ってガク然とした。上京し幸福な妻となったが、そのときの歪んだ悦びを忘れることができなかった。夜は夫（神原明彦）との営みに満ちたりていたが、昼は刺戟の強いセックスを求めて街を

「女子寮」でフレッシュな演技を見せる志村曜子と白川和子

さまようようになっていた。製作＝青年芸術映画協会・監督＝新藤孝衛

スペシャル ＝国映配給

豚のヤミ業者の陳（奈ケ岡信）と情婦蘭子（谷ナオミ）が一儲けをたくらみ温泉地にきた。蘭子は牧場の辰田（神原明彦）や大工の棟梁（里見孝二）を誘惑しようとするが、大工の情婦（小柳リカ）や芸者（大月礼子）旅館の女中（達見典子）らに邪魔されてしまう　製作＝新日映画　監督＝関　孝二

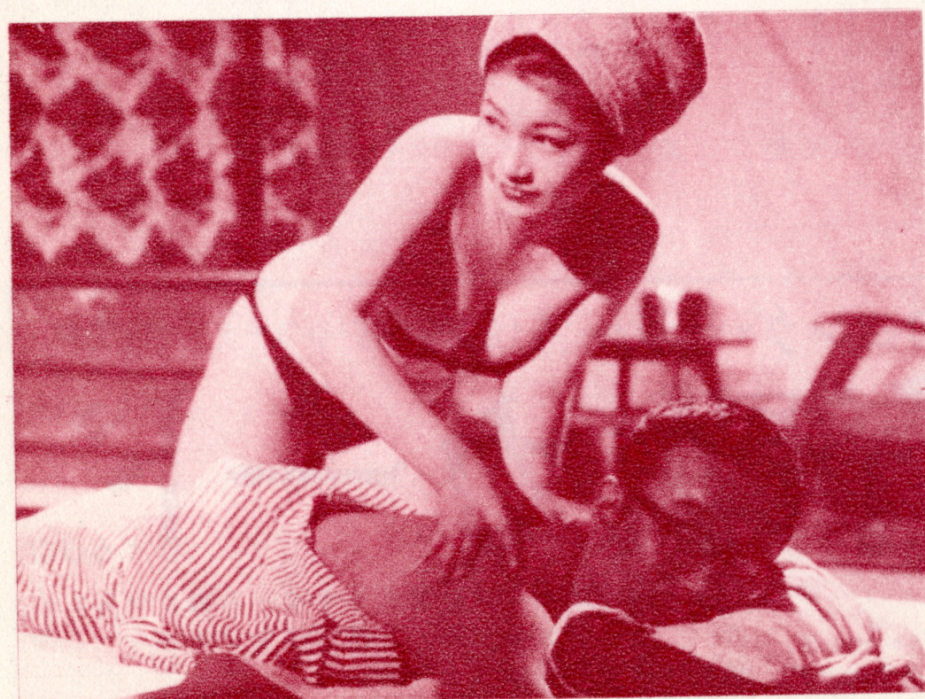
女のよろこび ＝大蔵映画配給

東京にあこがれて家出した芳子（加山恵子）はやりてのお光（清水世津）にそそのかされ、処女をうばわれて、夜の女に転落する。泥沼の生活からぬけ出そうとしていたとき仲間の明美（森　三千代）が心中事件で残された男（神原明彦）に手紙を出すことをすすめる。後妻でもまともに暮したいと願う芳子は男に手紙を書くのだった。製作＝外苑プロ　監督＝宇礼　始

無軌道女性 ＝大蔵映画配給

「続悪徳医〈女医編〉」で
悪徳女医に扮する左京未知子

「無軌道女性」の林　美樹

節子（滝リエ）と定夫（種村正）は東京に家出し、定夫が仕事をさがしているすきに節子はヤクザの岩崎（山本昌平）に監禁されて処女をうばわれる。一方、定夫はヤクザ（里見孝二）になぐり倒されて、バーのホステス（林美樹、山吹ゆかり、森三千代）に助けられバーテンとして働くが節子のことが忘れられない。製作＝ヤマベプロ　監督＝松原次郎

「スペシャル」で新鮮なお色気をふりまく谷ナオミ

ＯＰチェーン映画ガイド

4/22～4/29	夜泣く女（関東ムービー）	激情の乳房（大蔵映画）
4/30～5/9	現代女性医学（大蔵映画）	無軌道女性（大蔵映画）
5/10～5/16	雪肌の女（葵映画）	女の呼吸（関東映配）
5/17～5/23	女子寮（関東ムービー）	処女と唇（六邦映画）
5/24～5/31	続・悪徳医〈女医編〉（日本シネマ）	若い刺戟（大蔵映画）
6/1 ～6/9	お化け大会　情怨の生首・他２本（大蔵映画）	

★**ピンク映画にも格調の高さが**
ボクは今までに百二十本ほどピンク映画をみてきましたが、印象に残っているのは「新・妾」「続・情事の履歴書」「壁の中の秘事」ぐらいなもので、ほとんどの映画が見終わった後、むなしい自己嫌悪を感じさせられます。ところが先日「女郎妻」をみてその格調の高さ、詩情、ひたむきな演技、構成などに心をうたれました。これこそピンク映画の最高傑作であり金字塔だと思いました。あの監督にインタビューしてください。
（東京・内田）

★**惜しまれる新高恵子の引退**
小生は室内装飾の仕事をしていますが、ふとしたことからピンク映画をみるようになりいまではやみつきになりました。
特に新高恵子さんの大ファンですが、退めてしまい残念でしかたがありません。新しい女優さんがたくさん出てきましたが第二の新高さんが早く出るよう期待しています。これからも新人をどしどし紹介してください。
（大阪・T生）

成人映画

■昭和42年5月1日発行　通巻第16号　毎月1回1日発行　編集兼発行人／川島のぶ子　発行所／東京都中央区銀座西8—10高速道路ビル地下101号室　現代工房　電話／東京（571）6400　■定価百円

■**編集後記**
▼今号も紙面、内容を刷新した。グラビアの色つきなど、いかがですか。女優陣もいよいよ新人が交替するときがきた。特集をごらんになると、大いに楽しめる新人女優がワンサとでてきたことを知らされるでしょう。ぜひ期待してください。（K）

▼ときはゴールデン・ウイーク。各社とも自信作をくり出してヒットを狙っているが、さてどの作品がトップをかざることができたか。脚本、演出、演技　それにセクシーさがプラスされたときこそ群をぬけるわけだ。（X）

★「成人映画」ファンのご要望に応えて、本誌がピンク女優を特写した〝セクシーヌードポーズ集〟の写真をおわけします。
キャビネ版五枚一組で送料共千円。現金書留かカワセで送金下さい。

関東地区成人映画上映館一覧表

大阪地区成人映画上映館

難波
- ▶千日前オリオン座 (641) 5477
- ▶千日前新オリオン座 (641) 5477

西淀川区
- ▶野里リボン座 (471) 1082

阿倍野筋
- ▶阿倍野名画座 (641) 5885

福島区
- ▶吉本キネマ (451) 6793

布施市
- ▶布施映劇 (721) 499、

城東区
- ▶放出シネマ (9ι1) 0664

守口市
- ▶守口セントラル (991) 0049

東淀川区
- ▶十三若草劇場 (301) 5929

天王寺区
- ▶鶴橋松竹 (761) 9752

都島区
- ▶都島会館 (951) 4651

北区
- ▶天六映画劇場 (351) 9138

大阪駅

名古屋地区成人映画上映館

- ○浄心ハイツ (531) 4118
- ○上飯田劇場 (991) 5714
- ○守山瓢映 0560-(79) 2082
- ○栄生グランド劇場 (551) 6379
- ○タカラ劇場 (941) 6076
- ○堀川映画劇場 (231) 0193
- ◎今池フジ (731) 4763
- ○太閤劇場 (551) 2353
- ◎テアトル希望 (541) 3044
- ○曙文化劇場 (731) 3806
- ○鶴舞劇場 (881) 8494
- ◎日活シネマ (241) 2345
- ◎名画座 (231) 3211
- ○雁道劇場 (881) 8069
- ○日比野東映 (671) 0407
- ○八熊文化劇場 (321) 8194
- ◎南映画劇場 (811) 4906
- ○新郊劇場 (811) 2730
- ○名港文化劇場 (661) 1269
- ○名南劇場 (811) 6586

月刊「成人映画」通巻第十七号 昭和42年5月1日発行 編集兼発行人 川島のぶ子 発行所／東京都中央区銀座西八ノ一〇 高速道路ビル一〇一号室 電話（五七一）六四〇〇 現代工房 定価百円